

バイタルサインセンシング技術に関する特許分析と事業化動向

Part.2 米国特許編

本書は、心拍/脈拍測定、血圧測定、心電測定、血中酸素測定の4つのバイタルサイン（生命兆候）測定に関する特許出願について、特にその日常シーンでの活用に注目し、携帯機器、ウェアラブル機器、ワイヤレス機器、ネットワーク、クラウド、健康管理、生活応用などに関連するものを抽出・解析したものです。

本書の目的は、日常生活からスポーツ、自動車の運転、睡眠、入浴など生活のあらゆる局面で、健常者からスポーツ/作業従事者、生活習慣病患者および予備軍、高齢者、在宅患者などきわめて幅広い人々に役立つバイタルサインセンシングに関する特許出願を抽出・分析し、その発展状況、注目すべき技術、主要な出願人を明らかにすることです。

さらに本書は昨年8月に発刊しました「Part.1 日本特許編」と同じ解析軸で分類を行っており、2冊併せて日米特許動向の比較分析も行えるようになっており、当該分野における特許分析には必携の書となっております。

冊子+CD版の付属CDには、収録特許の書誌情報と分析結果を収めたExcelファイルが入っています。特許検索の手間が省け、Excelの機能を活かして様々な活用ができるようになっています。

A4判 321ページ 2月29日発売
冊子版 定価：120,000円(税別)
冊子+CD版 定価：180,000円(税別)

本書のコンセプト

本書では、心拍/脈拍測定、血圧測定、心電測定、血中酸素測定の4つのバイタルサインセンシングについて、米国特許商標庁 (USPTO) の特許データベースを使用し、2000年1月1日～2015年9月30日までの間に登録された特許を検索、得られた特許文献を精読し以下の5つの解析軸から分析を行っています。

尚、この解析軸は昨年8月に発刊しました日本特許編とまったく共通となっており、この2冊で日米の特許動向の比較ができるようになっています。

解析軸	解説
解析軸1 測定/応用対象	まず、測定自体を目的とする測定技術と、測定結果の応用を目的とする応用技術に大分類。次に、測定の対象、応用の対象によって分類した。その分野で何が行われているかを明らかにする
解析軸2 機器形態	ウェアラブル、モバイルのような機器の形態上の特徴を抽出して分類し、その分野の機器をユーザがどう利用できるかを明らかにする。
解析軸3 技術方式	測定の原理および具体的な測定技術について分類し、その分野でどのような技術が用いられているかを明らかにする。
解析軸4 測定部位	測定を行う身体の部位を抽出して分類し、その分野の測定にはどのような部位が適しているのかを明らかにする。
解析軸5 要素技術	その特許を特徴付ける要素技術を抽出して分類し、その分野の研究開発や事業化に必要な技術的バックグラウンドを明らかにする。

本レポートの目次構成

1. はじめに	6	5. 血中酸素測定に関する特許動向分析	212
1-1. 本書の目的	6	5-1. 特許の全体動向	212
1-2. 特許検索について	9	5-2. 解析軸1:測定技術/応用技術とそれぞれの対象	212
1-3. 解析軸および分類について	11	5-3. 解析軸2:測定対象/応用対象と機器形態の関連	218
2. 心拍/脈拍測定に関する特許動向分析	25	5-4. 解析軸3:測定の技術方式	220
2-1. 特許の全体動向	25	5-5. 解析軸4:測定の部位	222
2-2. 解析軸1:測定技術/応用技術とそれぞれの対象	25	5-6. 解析軸5:要素技術	223
2-3. 解析軸2:測定対象/応用対象と機器形態の関連	30	5-7. 血中酸素測定技術に関する特許の出願人別動向	224
2-4. 解析軸3:測定の技術方式	33	5-8. 上位出願人の特許出願と事業化の動向	228
2-5. 解析軸4:測定の部位	35	6. バイタルサインセンシングの米国登録特許動向のまとめ	285
2-6. 解析軸5:要素技術	37	6-1. 4分野の全体動向	285
2-7. 心拍/脈拍測定技術に関する特許の出願人別動向	38	6-2. 心拍/脈拍測定技術のまとめ	285
2-8. 上位出願人の特許出願と事業化の動向	43	6-3. 血圧測定技術のまとめ	286
3. 血圧測定に関する特許動向分析	102	6-4. 心電測定技術のまとめ	287
3-1. 特許の全体動向	102	6-5. 血中酸素測定技術のまとめ	287
3-2. 解析軸1:測定技術/応用技術とそれぞれの対象	102	6-6. 最後に	287
3-3. 解析軸2:測定対象/応用対象と機器形態の関連	108	収録特許一覧	289
3-4. 解析軸3:測定の技術方式	110		
3-5. 解析軸4:測定の部位	112	◆上位出願人の項は、基本的に各社とも以下の(1)～(10)になっています。但し、(2)(3)など該当する特許の件数が少ない場合は省略する出願人もあります。4分野で全13社を収録しています。	
3-6. 解析軸5:要素技術	115	(1)事業化動向	
3-7. 血圧測定技術に関する特許の出願人別動向	115	(2)抽出特許の概要	
3-8. 上位出願人の特許出願と事業化の動向	120	(3)測定技術に関する特許の動向	
4. 心電測定に関する特許動向分析	163	(4)応用技術に関する特許の動向	
4-1. 特許の全体動向	163	(5)技術方式別特許の動向	
4-2. 解析軸1:測定技術/応用技術とそれぞれの対象	163	(6)測定部位別特許の動向	
4-3. 解析軸2:測定対象/応用対象と機器形態の関連	168	(7)要素技術別特許の動向	
4-4. 解析軸3:測定の技術方式	170	(8)単独出願と共同出願	
4-5. 解析軸4:測定の部位	173	(9)抽出特許に関するまとめ	
4-6. 解析軸5:要素技術	175	(10)登録特許の概要	
4-7. 心電測定技術に関する特許の出願人別動向	175		
4-8. 上位出願人の特許出願と事業化の動向	179		

付属CDの内容物

本文PDF
収録特許データ入り
Excelファイル

豊富な図表で分かりやすく解説しています。

(10) 登録特許の概要

US登録特許番号:	9048529
発明の名称	Resonator structure
出願番号	12/934,309
公報番号	US20110012807A1
出願人	Polar Electro
発明者	Sorvala; Juha
測定/応用	測定技術
機器形態	装置型全般
技術方式細分類	物理的測定/
測定部位	体表面全般

◆要約原文:
A resonator structure of an r with a radio frequency si configured to resonate ar electromagnetic energy w dielectric resonator e/ conductive grounding r

US登録特許番号:	90
発明の名称	
出願番号	
公報番号	
出願人	
発明者	
測定/応用	
機器形態	
技術方式細	
測定部位	
◆要約原	
A system during devior real- frar of' us d,	



A4判 321ページ
図版総数 198
表総数 62 + 収録特許一覧

CDには、本文PDFと、収録特許のExcelデータ集が入っており、自由に検索や統計処理が行えるようになっています。

<Excel版収録特許データ集の項目>

米国登録番号	登録日		
出願番号	出願日		
公報番号	公開日		
継続/分割/仮出願例	原出願日		
優先出願番号	優先権主張日		
国際公開番号	国際公開日		
発明の名称			
CPC			
IPC			
要約原文			
測定/応用	測定対象	応用対象	
機器形態			
技術方式大区分	技術方式		
測定部位大区分	測定部位		
要素技術			
出願人1	国籍1		
出願人2	国籍2		
出願人3	国籍3		
出願人4	国籍4		
発明者			